

あい 藍染め!

ンターで「自然にやさしい藍染」講の伝承活動に取り組む篠路天然藍染さんで、初めて藍染めをする人にも寧に教えてくれました。今月は区民に、藍染め作品が出来上がるまでの紹介します。



佐藤さん(左)と椎野さん



篠路天然藍染振興会の作品

②模様を付ける

～藍色に染まらない部分を作ります



染める絹や綿などの材料を藍染め液に浸すと藍色に染まりますが、これから紹介していくいろいろな技法を使って防染し、白い部分を残すことで模様を付けます。

①藍建て

～藍染め液を作ります



藍の葉を乾燥・発酵させた「すくも」と木灰から作る灰汁を混ぜ、発酵を促進させる栄養分(日本酒など)を与えて保温。約1週間で完成します。

藍染めってどうやってできるの?!

③灰汁に浸す



染まりやすくするために、灰汁に浸しておきます。

板締め絞り～板のあて方が決め手

布を折りたたみ、板できつく挟みます。折り方と板のあて方を工夫するだけで、正方形や三角形、平行四辺形などのさまざまな模様ができます。



丁寧に折って、きちんとゴムで留めることがポイントです



参加者の作品は藍染め初体験とは思えない見事なものばかりでした

かご染め～しわが自然な模様

布をつまんだり、ねじったりしてしわを作り、2枚の金網で挟んでそのまま染めます。きつくねじると白い部分がくっきりと残り、小さなしわと大きなひねりがすてきな風合いを生み出してくれます。

ひねりを崩さないようにそのと金網で挟みます



ぎゅっとねじって...

初級編

さあ、いろいろな技法に挑戦!

思いがけない面白い模様が付きました

使う道具はこの金網だけ



一度染めた後に、板をすらしてもう一度染めたんですよ

